高等学校 令和８年度（１学年用）年間授業計画　教科：地理歴史　科目：地理総合

教科：地歴　　科目：地理総合　　単位数：２単位

対象学年組：第　１　学年　　１組～７組

使用教科書：『改訂版 地理総合』第一学習社・『新詳高等地図』帝国書院　　使用副教材：『新詳地理資料』帝国書院

教科の目標：　地歴科

【知識及び技能】身の回りの社会的事象に関する基本的な知識や技能を習得し、地理歴史的な見方・考え方を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】資料や、統計・地図などの諸資料を活用し、必要な情報を収集・判断し、自らの考えを表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】世界や日本の地理的事象、現代社会の諸事象を考察し、現代の諸課題を主体的に探究・解決しようとする。

科目の評価規準：　地理総合

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代世界の特色と諸課題について、グローバルな視座から生活文化の多様性と国際理解、国際協力の在り方や地球的諸課題への対応を理解する。また、持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的諸課題を考察する。	地図や地理情報システムなどを用いることで、汎用的で実践的な地理的技能を習得し、諸課題を多角的に考察し自ら判断できる力を身につける。そのために、グラフや図、統計資料などから現代社会の地理的諸課題やその対応を読み解くことができる力をつける。また考察したことについて、表現する文章力やプレゼンテーション力を養う。	よりよい国際社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うよう、授業で積極的な発言をおこなう。我が国の文化・歴史に対する敬意、生活文化の多様性と国際協力の重要性を認識し、他国や他国の文化・歴史を尊重する態度を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	地上の現象や地球上の位置、地図投影法や国家の結びつきや世界の一体化等について、地域性や日常生活との関連を踏まえて、多角的・多面的に考察する。 【知識・技能】 地上の現象や地球上の位置、地図投影法や国家の結びつきや世界の一体化等について理解・考察する。 【思考・判断・表現】 地上の現象や地球上の位置、地図投影法や国家の結びつきや世界の一体化等について有用な情報を選択して、考察・表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地上の現象や地球上の位置、地図投影法や国家の結びつきや世界の一体化等について関心と課題意識を深め、それを意欲的に追求する。	●球面上の世界と地図 ・地球に関する基本事項 ・緯度と経度の違いとその影響 ・さまざまな図法 ※地理情報システム（ＧＩＳ）の活用 ●現代世界のグローバル化 ・国家の領域と国境 ・日本の領域と領土問題 ・国家間の結びつき ・交通の発達 ・世界の貿易、人の移動	【知識・技能】 地上の現象や地球上の位置、地図投影法や国家の結びつきや世界の一体化等について基本的な知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 地上の現象や地球上の位置、地図投影法や国家の結びつきや世界の一体化等について有用な情報を選択して、考察・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地上の現象や地球上の位置、地図投影法や国家の結びつきや世界の一体化等について関心と課題意識を深め、それを意欲的に追求し捉えようとしている。	○	○	○	12
	１学期中間考査			○	○		1
	人間生活を取り巻く環境（地形）の多様性ついて理解する。 【知識・技能】 人間生活の舞台となるさまざまな地形の形成過程を考察する。人々の生活に与える影響を踏まえて理解する。 【思考・判断・表現】 自然環境である地形の特徴と人々の生活に与える影響について考察し、導き出した考えを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間と自然との関わりに強い関心をもち課題意識を高めながら，それを意欲的に追求しようとする。	●世界の地形と人々の生活 ・大地形と人々の生活 ・変動帯と人々の生活 ・安定地域と人々の生活 ・河川がつくる地形と人々の生活 ・海岸の地形と人々の生活 ・氷河地形、乾燥地形、カルスト地形と人々の生活 ※地形図の利用	【知識・技能】 さまざまな地形の形成過程および特徴の違いを理解できる。 【思考・判断・表現】 生活の舞台となるさまざまな地形が、地域性を生み日常生活に違いもたらすことを踏まえて多角的に考察し適切に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境（地形）と人間生活との関わりに対する強い関心をもち、それを意欲的に追求しようとしている。また身近な地図の特色やＧＩＳ技術の活用場面を考察できる。	○	○	○	12
	１学期期末考査			○	○		1
２学期	人間生活を取り巻く環境（気候）について理解する。 【知識・技能】 気候要素や気候因子が人間生活に違いをもたらし、人々の生活に大きな影響を与えることを理解する。 【思考・判断・表現】 図やデータを活用しながら、気候の特徴と人々の生活の関わりについて考察し，導き出した考えを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間生活に影響を与える気候の特徴を理解した上で、自然環境と社会環境との関連を踏まえて積極的に知ろうとする。	●世界の気候と人々の生活 ・気候要素の特徴 ・熱帯の気候と人々の生活 ・乾燥帯の気候と人々の生活 ・温帯の気候と人々の生活 ・亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活 ※気候を生かした農業や鉱工業とのかかわり	【知識・技能】 気候要素・因子の特徴、気候区の分布や特徴を踏まえた上で人々の生活を理解できている。自然環境に対する基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 気候に関する統計・画像等の諸資料を収集し有用な情報を選択して、人間生活の特徴や違いについてまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境に対する関心と課題意識を高め、その問題点について積極的に追求しようとしている。	○	○	○	13
	２学期中間考査			○	○		1
	世界の衣食住や農業・工業の分類、言語・宗教等人々の生活と文化について理解を深める。 【知識・技能】 学習し、その違いが地域固有の文化を生み出すことを理解・考察する。 【思考・判断・表現】 地図や資料を活用し、世界の衣食住や農業・工業の分類、言語・宗教等人々の生活に密接な関わりをもつ諸事象について考察し，自らの考えを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の衣食住や農業・工業の分類、言語・宗教等人々の生活と文化について理解を深め、文化の画一化に対して地域固有の文化の特色を尊重する動きがあることを認識し、様々な諸課題について自分の意見を持つことができる。	●衣食住からみる世界 ・衣食住の地域性 ・世界の農業 ●暮らしを豊かにする産業 ・世界の工業 ●世界の言語・宗教と人々の生活文化 ●多文化共生	【知識・技能】 世界の諸地域にみられる宗教・言語がそれぞれの生活や文化を育んできたことを理解し、その知識を身につけている。また、国家の成立条件を理解している。 【思考・判断・表現】 宗教・言語と人々の生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。国家における主権の重要性を認識し、独立国と植民地との違いを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活と宗教・言語の関わりに対する関心と課題意識を高め、国際社会において平和を構築するため、なにが必要か、どのように関わることができるのかを、自分の課題として知ろうとしている。世界の領土問題や紛争地域に関心をもち、積極的に課題解決への考えをまとめる。	○	○	○	13
	２学期期末考査			○	○		1
３学期	地球的課題とそれに対する取り組み、国際協力の現状について理解する。 【知識・技能】 地球的課題とそれに対する取り組み、国際協力の現状について、自然環境・社会環境の双方から多面的・多角的に考察し、その知識を身につける。 【思考・判断・表現】 地図・図版・資料・写真等を活用し、地球的課題とそれに対する取り組み、国際協力の現状について、関心と課題意識を高め、その考えを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題とそれに対する取り組み、国際協力の現状について、自分自身や日本が果たす役割について考察し、地球的課題を意欲的に探究する。	●地球的課題と国際協力 ・ＳＤＧｓ ・貧困、人口、食料、エネルギー、都市問題 ・環境問題 ・民族問題	【知識・技能】 地球的課題とそれに対する取り組み、国際協力の現状について、自然環境・社会環境の双方から多面的・多角的に考察し、その知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 地図・図版・資料・写真等を活用し、地球的課題とそれに対する取り組み、国際協力の現状について、関心と課題意識を高め、有用な情報を選択し導き出した考えを表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題とそれに対する取り組み、国際協力の現状について、自分自身や日本が果たす役割について考察し、地球的課題を意欲的に探究し、自身の考えを持つことができる。	○	○	○	15
	学年末考査			○	○		1
						合計	70